

新生「芝浦機械グループ」は、皆様と共に価値を創る企業を目指します

はじめに

平素より、芝浦機械グループへの格別のご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

当社は、2020年4月1日付で、商号を「東芝機械株式会社」から「芝浦機械株式会社」に変更いたしました。

新生「芝浦機械グループ」として、ESG（環境、社会、ガバナンス）の取り組みを、あらゆる事業活動を通じてあらためて強化をしております。芝浦機械グループは、これまで培われた技術・開発力、QCD、営業・サービス力を基盤として、再生可能エネルギー、省エネルギー、環境対応の新素材、生産性向上などの分野を軸に投資推進を行ない、これらを含め、国連の「持続可能な開発目標(SDGs)」で示された社会が抱える問題に対し、事業活動を通じて企業としての役割を果たし、持続可能な社会の実現に向けてさらなる貢献をいたします。

また、ステークホルダーの皆様のご期待やご要望に応え、信頼を得ることが必要不可欠と考え、これからもより一層の企業努力を続けてまいります。

中期経営計画

当社は、2020年2月に策定いたしました「経営改革プラン」に基づき、組織再編を中核とした経営改革、成長分野に対応した投資の推進、資本効率(ROE)の向上を目指した財務戦略の実行に取り組みます。

また、2020年3月に策定いたしました「新生『芝浦機械』長期ビジョン2030」に基づき、グローバル製造業が直面する「気候変動と資源不足」、「人口構造の変化」、「テクノロジーの進歩」等のメガトレンドに卓越した技術革新で応え、社会的課題の解決と企業価値向上を両立することを目指しております。これらの施策に取り組み持続的に成長をし、「新たな産業を創造する力」で皆様と共に価値を創る「価値共創メーカー」へと進化してまいります。

コンプライアンス・内部統制

芝浦機械グループは、『芝浦機械グループ経営理念』に基づき事業活動を行なうにあたって、「芝浦機械グループ行動基準」を定め、コンプライアンス機能と内部統制機能の構築と強化を図ってまいりました。コンプライアンスは経営の大前提であり、国内・海外における企業活動はすべて法令・社内規程・企業倫理などの社会のルールに従って遂行いたします。

私たちがルールを遵守することは、ステークホルダーの皆様の安心・安全・安定の確保につながります。全従業員がこのことに留意し、将来にわたって社会に必要とされる企業であり続けます。

また、高い倫理観と遵法意識の醸成を図るため、従業員教育、内部統制機能の充実に努めてまいります。

グループガバナンスにおきましては、芝浦機械が中心となり、国内外各関係会社を含めたグループ力を引き続き強化し、グループ全体での経営管理を継続して推進してまいります。



芝浦機械株式会社

代表取締役社長 最高執行責任者

社長執行役員

坂元 繁友

